

(公財)日本中学校体育連盟 ソフトボール競技部 申し合わせ事項

1. ルール(公式ゲーム)に関する事項

- ①コーチズボックスの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- ②外部指導者(コーチ)登録は1名とし、ユニフォームナンバー31または32とする。
- ③ユニフォームの背中に個人名を入れる際には、プログラムに掲載の姓名を表示すること。
(姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。)
また、学校教育の発表の場であることを踏まえ、ユニフォーム・ヘルメット等に広告を入れることは認めない。(チーム名の表示は可)(全競技共通)
- ④監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者(コーチ)のユニフォームの上着は、選手と同色・同意匠のものとする。裾を外に出すユニフォームの時は、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者(コーチ)は中に入れるタイプでもかまわない。
- ⑤選手が襟付き、またはノースリーブのユニフォームの場合、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者(コーチ)も同じものを着用する。また、選手が半ズボンの時、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者(コーチ)は同色のズボンで良い。(サイドラインなどがなくてもかまわない)
- ⑥合同チームのユニフォームについては統一されたものが望ましいが、統一できない場合であっても、ユニフォームナンバーの重複はしないこと。また、大会本部の判断によりビブスの着用を求めた場合には応じること。

2. 競技(公式ゲーム)に関する事項

- ①登録選手以外の選手は、自チーム側の応援席にいること。
- ②競技場の外野及びファール地域フェンスの内側には、校旗(部旗)・横断幕・のぼりなどを掲示しない。
- ③監督を兼務しない引率責任者はID着用の上、襟付きのシャツ・長ズボン・またはスカートで靴を履くこと(Tシャツ、サンダルやハイヒールは禁止)。ベンチ入り後はベンチ内にいること(キャッチボールやノックなどは行わない)。
- ④試合中は、ベンチ内で写真・動画の撮影は行わない。
- ⑤投球時、投手がセットしたらリリースするまで、ベンチもスタンドも応援を中断する。
- ⑥応援は鳴り物(ペットボトル・うちわなども含む)は禁止とする。大会の品位を汚すような野次や、審判員のコールに対する野次があった場合には、試合を中断して当該監督を指導し対処する。
- ⑦選手のサングラスについては、眩惑による危険防止や健康上の目的での使用を認めるが、視野の狭窄や明るさの減衰による視覚の低下、破損について十分に配慮すること。なお、アイシェードなどは認めない。監督は、選手交代の通告など審判員と会話をするときにははずすこと。
- ⑧ゲーム中の控え選手のピッチング練習は、ファール地域で1組のみとする。捕手は必ずマスク着用をすること。
- ⑨試合前の選手紹介のアナウンスは、フィールドイング中に行う。
- ⑩応援席などベンチ外から作戦指示・それにもなう助言はしてはならない。そのような行為が見られた時は、監督または該当者に注意する。
- ⑪試合進行を迅速にするため、試合後のあいさつは、ホームベースをはさんで行う1回のみとする。審判・相手チーム・ベンチ・応援席への個別なあいさつは重ねて行わない。

3. 競技場(大会運営)に関する事項

- ①保護者・応援席のビデオ撮影は、バックネット裏及びセンターバックスクリーン周辺は禁止とする。撮影の可能な場所を競技場に設置する。
- ②(公財)日本中体連の協賛企業の横断幕は、投球と重ならない位置に設置する。
- ③アミの外野フェンスを使用する場合は、支柱の上部には安全のためのカバーを付ける。また、フェンスの上部には、白色・黄色などの帯状のもの(マーカー)を設置する。

4. その他の事項(大会運営)

- ①ブロック長は、監督会議の前に各ブロック大会と全中のプログラムを見て、ブロック大会に登録されていない選手が全中に登録されていないか確認する。
- ②全中の優勝カップ、優勝旗、返還の代理者のユニフォームは、チームの自費で送付する。
- ③全中の組合せは、同じブロックがベスト4まで対戦しないことを原則とする。
- ④視察員の範囲は、3年先の開催地実行委員会・役員までとする。また、日本ソフトボール協会の視察には、あらかじめ役職がわかる帽子・IDなどを付けるようにする。

2026年(令和8年)4月1日 改訂